

磐城時報

石城縣石城郡平町新聞社
印刷所 石城郡平町新聞社
電話 石城郡平町新聞社
發行所 石城郡平町新聞社
印刷部 石城郡平町新聞社
電話 石城郡平町新聞社
電話 石城郡平町新聞社
電話 石城郡平町新聞社

大瀧事件行政訴訟 遂に平町が敗訴す

廿五日午後一時判決言渡 水利権がないといふためか

小田炭礦株式會社が自家用として情を詳細に知悉する事だらうとて縣から許可を受けた後平町平町思ふが、いま過去の大略を記せば電氣株式會社(元平電氣企業社)は、大瀧發電所は小田炭礦株式會社が自家用として設立を計劃したもので、最初の計劃は好間川の橋小屋地内から毎秒七立立方尺を取水し、平町水道の取水口から分岐する上流に放水して發電する計劃であつたが、これを其後權利を平電氣企業社に譲渡したもので、同社では最初の計劃では落差の關係で發電不能であつた。

敗訴の理由が判つたら 町會で善後策を協議

平町長伏見彦衛氏談

大瀧發電所訴訟事件が平町の敗訴となつた事は大正十三年問題が勃發した當時平町が騒いだ程の問題は起すまいとしても今日に至るまでの責任者等に對し糾弾的態度に出でる者もある可い、或は町當局として責任上何等かの態度をとるに至るやも知れず相當矢張り問題の惹起するではないかと想像されてゐる。平町敗訴の報を知つて伏見町長は語る。

犠牲者 大瀧事件の経過

抑々大瀧發電所事件の今日に至る経過は、平町に於ける空前の大問題であつたから讀者は事

平町の諒解を得ねば 工事に着手は出来ぬ

新理事は許可を取消かも知れぬ 縣會議員井上茂作氏談

大瀧發電所反對運動の急先鋒として今日まで努力して來た縣會議員井上茂作氏は語る。平町敗訴の理由は判明しないが、想像する處によると、水道の權利、水利権とは法律上別々のもので前者は内務大臣から許可を受け後者は縣知事から別に許可を受けねばならぬらしい。然るに日本全國の水道は内務大臣からその許可を受けてゐるためである。自然水利権も之に伴ふものと思つて殊更縣知事から水利権の許可など受けてゐる處はない。平町も之に倣ひ水道権を得たのみで縣知事から水利権の許可は受けてゐないから、この許可が即ち平町に水利権がないと判定された理由だと思つてゐる。即ち行政裁判所では實狀が如何であつても形式的に條文に示された法律によつてのみ事件を判斷したものである。兎に角敗訴したまれば善後策を講究せねばならぬが、それは理由書を見れば上下なれば決つてゐない。今日に於ては電氣會社が大瀧發電所の工事を平町水道の權利を少しも侵害しない程度で行ふなら着工出来るであらうが、放水口は平町水道の鐵管の下を潜らせねばならず即ち平町の諒解を得てその敷地を借りねばならぬわけだから、この問題は「許可權は他人に譲渡するわけにはいかぬ」といふ原則に基いて小田炭礦が電氣會社に權利を譲渡したの違法である。川淵知事は栗原欣次郎氏の實兄栗原一郎氏

平町永遠の利益のため 圓滿な妥協が望ましい

平町議 野崎滿藏氏談

尚ほ大瀧發電所問題について當該時平電氣株式會社重役で事件に密接な關係を有する野崎滿藏氏は語る。二十五日會社側が訴訟に勝つた事は諸般博士からの電報で知つた。事件がかう解決を告げた上は平町の有志家の諒解を得て發電所の基礎を固くし完全なる發電所を建設したいと思ふ、大瀧發電所を設置する事はその水槽から平水道の所用水量を完全に取り入れる事が出来將來増水の必要に迫られる平町として發電所の設置は誠に利益ある事業である。確信してゐるため私等は昨年二月五日の平町會社に平町を委員を選定し小田炭礦會社と交渉し平水道の安んじなると言ふなら之の場所を四五間上流にするか又は下流の窪江筋にしてもいい。工事を差押へらるゝ理由はない。平町を愛する者には於ては人後にたつものではない。故に私はこの際圓滿な妥協の下にこの利益ある會社を出現させ

石城各炭礦 納炭概況

去月中旬より本月中旬まで約一ヶ月に亘り常磐炭礦より鐵道省に納炭した石城の總量は、湯本驛五十八車、經驛百六十三車合計二百二十一車で一車平均を十一噸とし二千四百三十一噸に上つてゐる、最も多いのは磐城の

新黨に加入 昨日決定

石城憲政俱樂部では既報の如く二十五日午後二時から平町南町俱樂部に石城郡内黨員百五十名が會合し若松幹事長挨拶、比佐代議長が第五十二及び第五十三兩議會に於ける憲政會、政友本黨間の妥協交渉經過を詳細に報告した後郡内の憲政會員が立憲民政黨に加入するや否やを協議した結果滿場一致加入と決定し懇親の宴を開いて散會した。

愛婦平支部 有功章傳達式

平町愛國婦人會支部會員左記九名は二十五日午前十時から平町役場にて此程御親授になつた有功章傳達式を舉行され伏見願間からそれぞれ交附された。

▲諸橋たけ ▲青沼せい ▲三井きみ ▲清野きよ ▲山下はる ▲藤田みい ▲武川りん ▲原田秀穂 ▲伏見ちよ

古来よりの **支那六神丸** 定價 一圓・二圓・五圓
 真正の六神丸として好評偉大
復方チアスタゼ錠
 あらゆる胃散にて癒さざる人々に直ちに服用を勧む
大販賣店 山野邊藥局
 平町五丁目角

御折角學びました左記の技藝を、寶の持ち腐れにするのも惜しいと存じまして、望みの方々に御練磨の相手を致しませうから、御遠慮なく訪ね願ひます。

一、奥田式裁縫の方法
 裁板、ひのし、鏡、鑿等の諸道具を一切用ひず地質を少しもたためずに着物や羽織が僅か三四時間で出来る最新裁縫法にて奥田女史が卅年の苦心を拂つて案出致したもので御座います。

二、縮緬細工
 御祝儀用として優美な鯛や寶船等が鉄を入れず、糊を使はず自由自在に出来上ります。ですから材料が少しもいたまはず不用になつて後解きますとその他のものに用ひられるのが特徴で御座います。

此外茶の湯、盛花(小原式)生花(古遠州流)等
 是非一度遊びがてらにた出掛け下さい
平町白銀町十一番地 高橋さく子

東京株式清算取引高低表

寄付	止	東株	他株
東株(當) 一四五七	一四五七	一四五七	一四五七
(中) 一四七五	一四七五	一四七五	一四七五
(先) 一三三五	一三三五	一三三五	一三三五
(先) 一三三六	一三三六	一三三六	一三三六
(先) 一三六一	一三六一	一三六一	一三六一
同新 六九八	六九八	六九八	六九八
同新 二七〇	二七〇	二七〇	二七〇
同新 五二五	五二五	五二五	五二五
同新 六一七	六一七	六一七	六一七
同新 一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
同新 六五九	六五九	六五九	六五九
同新 四一七	四一七	四一七	四一七
同新 一三五	一三五	一三五	一三五
同新 七五七	七五七	七五七	七五七
同新 四四〇	四四〇	四四〇	四四〇

最も優秀なる効力を有する新薬
 脳を健やかにし精力を増し
 血色を美しくする新薬
神活
 薬價 壹圓、貳圓、參圓、五圓
代理 大平屋藥店
 平一丁目 電話六四二

原齒科醫院
 平町土橋通り
 電話三一三番

驚いた!!!
 こうまで安いとは
 加納活版所の印刷物!!

東京商品取引
 (五月廿六日前場)
 ◎期米
 五限 六限 七限
 一節 二節 三節 四節
 八限 九限 十限 十一限 十二限

◎生糸
 一限 二限 三限 四限 五限 六限 七限 八限 九限 十限 十一限 十二限

小供麥帽
 婦人洋傘
 種々採取
 是非御覽
ツヤ洋品店
 平四丁目【電話四百四十四番】

磐城無盡商會
 本店植田町本丁 支店平町中丁

山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京一九七五五番
東京支店
 上野車坂四三
 電話下谷五七二番
 振替東京六八三二二番

母ヨシ儀豫而病氣の處五月二十五日午後一時三十分死去致候間此段辱知各位に謹告仕り候
 追而五月廿七日午後一時より自宅に於て神式を以て告別式相替み候
 昭和二年五月二十五日
 男 親戚總代 上田耕六
 高木津重
 友入總代 鈴木與雄
 合高木重

五月武者人形 大勉強
 座敷のほり
 平町 二丁目 **陳野洋器店**

五月人形 小道具一式
 座敷のほり
 銘茶 玩具類
いづや
 平町二丁目(電話六四九)

五月人形及び道具類
 見易く買ひ易い店
 平町三丁目 **加藤幸吉商店**

御座敷幟ト
武者人形ハ
 久月特製品ノヨクテ安イ
 平町三丁目 **金太郎玩具店**

御座敷ノホリ。武者人形
 尙武太刀。布製紙鯉
 外飾物一式
 平町四丁目 **菅野屋**
 電話一五七
 ◎可愛い金太郎がコヒを持 御待ち申して居ます